

第 17 回糖尿病とこころ研究会のご案内

謹啓

時下、先生には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび第 17 回糖尿病とこころ研究会を開催することとなりました。糖尿病の治療は食事、生活習慣など日々の生活の中で行われるものです。日常生活と治療が密接なため、心理的負担が大きい疾患です。患者さんの心理的なサポートやケアは、食事指導・日常生活指導、運動療法、薬物療法の3つの治療法と同様に重要です。しかしながら、心理的サポート・ケアに関しては、十分行われていないのが現状と思われます。この研究会の目的は、糖尿病患者さんの心理的な負担を取り除くという、糖尿病治療の重要な分野について勉強していくことです。お忙しい折とは存じますが、多数の先生方のご参加をお待ちしております。なお、10月9日は糖尿病とこころの日となっております(日本記念日協会認定)。

敬具

糖尿病とこころ研究会

記

日時：平成 28 年 10 月 21 日(金)19:00～

場所：ニューウェルシティ出雲 2F 牡丹の間

出雲市塩冶有原町2丁目15-1 TEL: 0853-23-7388

【情報提供】 選択的 SGLT2 阻害剤 スーグラ錠について アステラス製薬株式会社

【一般講演】19:10～

座長 島根大学医学部 内科学第一 山本 昌弘先生

「他職種と行う糖尿病治療の未来」

手納医院 院長 手納 信一先生

【特別講演】19:30～

座長 手納医院 院長 手納 信一先生

「糖尿病医療学について考えてみませんか？

—症例心理カンファレンスを通して見えてきたもの—」

天理よろづ相談所病院 内分泌内科 北谷真子先生

*会費 500 円を徴収致します

*会終了後、情報交換会を用意しております。

大学院博士課程 対象科目： 内分泌・代謝 I (D52)

担当： 内分泌代謝内科 講師 山本 昌弘 (内線 2183)

共催：糖尿病とこころ研究会 アステラス製薬株式会社

抄録

糖尿病を抱えて生きる患者さんを丸ごと理解して、個々の患者さんに即した支援をしたい。糖尿病臨床に携わる皆様方はこのように願っておられるのではないのでしょうか。

それでは、糖尿病患者さんの理解や支援を、どのように学べばよいのでしょうか。

私たちは、医学的なアプローチのみならず、心理社会的にもアプローチすることで、糖尿病患者さんをより深いレベルで理解することを目指し、そのための学問を「糖尿病医療学」と位置付けています。

糖尿病医療学においては、糖尿病臨床に関わるすべてのことが対象になります。例えば、患者さん自身のこと、患者さんと対峙する我々医療者のこと、そして、患者さんと我々の間にあるもの、などのすべてです。

我々は、この学びを深めるために、病棟で症例心理カンファレンス（事例検討）を行い、患者理解や支援について考えています。

今回は、実際の事例も交えながら、当院での取り組みをご紹介します。